
たったひとつの願い事

夜空桜月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たったひとつの願い事

【Nコード】

N9661Y

【作者名】

夜空桜月

【あらすじ】

私が経験した、恋愛を書いていきます。

彼との出会いから、別れ、その後。

たくさんを経験し、たくさんことを学びました。

私は、最低なあの人を愛していました。

別れた今、次の恋に進めず、迷っていたら、あの恋を振り返ってみて、この気持ちを出そうと考えました。

はじめに。

この話は、実際に私が体験した話です。内容は、時に大きさに書くこともございますが、ほとんど実際にあった話です。

2010年。私は一人の男に恋に落ちた。

私は、小学校のころから、ひとつのスポーツに、夢中に取り組んでいた。中学校も、恋はしていたけども、実ることもなく、ただ毎日、クラブをしていた。高校は、スポーツ推薦を頂き、毎日スポーツだけの日々を送っていた。

私は、18歳になっても、ろくに付き合ったこともなかった。むしろ、高校は女子高で、体育会系のクラス。恋などという言葉は、まったくなかった。

まず、私が恋に落ちた男は、初彼ではないことをここに書いておきたい。

私の学校は、県の中でもかなりの上位で、私の先輩から、連続でインターハイへの切符を何度も手に入れていた高校であった。もちろん、私が三年生になったときも、インターハイを目標に、つらい練習を乗り越えてきた。2010年の夏、私の学校は見事にインターハイへの切符を手に入れて、夢の舞台へいくことができたのだっ

た。私は悔しくとも、補欠だったので、本番の試合には出ていないが、チームとして誇らしいことであった。インターハイに決まってしまうから、「結団式」といものがあり、インターハイに出る全種目の選手が集まり、名前の通り、「結団」する式が行われた。私もそれに参加した。そこに、同じ種目で出るという、一人の男に出会った。そのときは、ヒトメボレだと思った。なんとか、友達を使い、メールをはじめ、4日後に、向こうから告られて、付き合うことになった。

この人が、初彼である。だが、1か月もたたないうちに、私は、草食系すぎるこの人に冷めてしまった。

そこで、彼に出会ったのだ。

出会ったのは、まだ私がその人を付き合っていた時期。インターハイも終わり、クラブを引退した私は、後輩の試合の応援で、体育館にいた。そこに、一人の顔見知りと、一人の男がやってきた。

「カッコいい！」まず、私と友達の一言であった。

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9661y/>

たったひとつの願い事

2011年11月29日00時58分発行